

## 東電と政府は、福島原発事故の「汚染水」の海洋放出をするな！ 漁業者だけでなく、韓国、中国、太平洋諸国が反対している

IAEA のグロッシ事務局長は「報告書」は科学的に誤りはないと自賛するが、IAEAの調査担当内での論議、反対意見の有無などを明らかにしない。何が検討されて安全であるという結論になったのかは全く明らかでない。そして、「IAEAとして日本政府が実施しようとしている『海洋放出』を承認したり推奨するものはない」として責任は引き受けない。南太平洋のPIF諸国が独自に設けた専門委員会ではほとんどの委員が海洋放出に反対の立場をとっている。グロッシ事務局長は会談後、「日本の処理水放出の長期監視をめぐる定期的対話を提案した」と表明している。

### これから毎日汚染水が放出され続けてよいのか？

岸田首相はIAEAの報告書を使って、原発汚染水の海洋放出が、「国際的な安全基準に合致」として強弁して、反対を抑え込み強行しようとしている。早速11日には福島県漁連に西村経産相が「安全性を報告」したが、福島県漁連は「海洋放出には反対という立ち位置」と述べて論議。

14日には西村経産相は全国漁業協同組合連合会を訪問、IAEA報告書を説明。全漁連は海洋放出に反対の姿勢を改めて示した。「漁業者にとっては『漁業が継続できる』という安心が必要だ」と述べた。

### 「これ以上話し合ってもしょうがない」となれば決断

政府は「IAEA」の報告書を繰り返し説明して、合意を取り付けることができなくても話し合うという。12日の朝日新聞の記事では、首相周辺は「どこかの時点で『もうこれ以上話し合ってもしょうがない』ということになる。何かがあれば、政府が全て責任を持つとして、(放出を)決断する」と語る。説得する気はないけれど、何度か話したら後は勝手にやらしてもらうという「問答無用」の対応である。

### 東電に原発稼働の適格性があるのか？ 東電は7つの約束を守っているのか？

東京電力について、規制委員会は福島原発事故を引き起こしてしまった企業体として、原発を動かす「適格性」があるのかを再度検証する。2017年に規制委は東電の「保安規定」に記された安全性の向上などの7項目を明記することを条件に「適格性」があると判断した。ところが東電はそれ以降不備が相次ぎ、規制委は核燃料の移動を禁じる是正命令を出し、運転を認めていない。今年5月にも安全などの課題が残っているとして稼働は認められていない。今回、規制委は「7つの約束」の順守状況を約3カ月かけて再確認する。現時点では、東電以外の管理者への切り替えまでが問題となっている。



柏崎刈羽原発

## 河邑厚徳 監督のドキュメンタリー映画 完成！ 「丸木伊里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部」



「沖縄戦の図」を描く丸木伊里・丸木俊

丸木伊里さんと丸木俊さんの共同作品では「原爆の図」、「南京大虐殺の図」、「アウシュビッツの図」などが著名であるが、沖縄の普天間飛行場に隣接した佐喜真美術館にある「沖縄戦の図」は、丸木夫妻と沖縄戦を生きのびた人々の共同制作である。

### 「現場」から描かれた沖縄戦

伊里さんは「沖縄を描くことが一番戦争を描いたことになる」と「沖縄戦の図」への取り組みを語った。1982～87年、丸木夫妻は沖縄に通い続け、地上戦の「現場」に立ちながら沖縄戦を連作14部に描いた。ふたりは、沖縄島や近隣諸島をめぐり、体験者の話に全身全霊を傾け、沖縄に関連する多くの本を読み、研究者を訪ねた。いまなお癒えることのない戦争の心の傷から絞り出すように語られた証言に(かたち)を与えていった。全14部は、佐喜真美術館に収蔵されている。

### 河邑厚徳監督の映画への思い

この映画の製作のきっかけは縦4

横8.5mの巨大な絵に向かい合ったことによるという。河邑監督は次のように映画の趣旨を話される。

2022年は、復帰50年となり、メディアはこぞって沖縄戦を取り上げた。その中であって、この映画は絵画だけで戦争の全体像を浮かせようとする一つの試みである。歴史は時間とともに遠くなり忘れられていくものだが、絵画はいつも見るたびに、いま現在の体験となる。時間を止めてリアルタイムで戦争の災禍を伝えられるのは藝術の持つ力である。丸木伊里、丸木俊の「沖縄戦の図」は広島・長崎の原爆の図を描き上げた後に制作した戦争悪と日本軍の愚かさを未来へ伝える世界レベルの作品である。最晩年の二人が激戦地を歩き、遺族に会い、琉球文化と芸能を創作のエネルギーに渾身の14作が生まれた。その絵を沖縄に全作品を置きたいという真摯な願いにこたえて、その全作品は宜野湾の佐喜真美術館に収められた。このアートドキュメンタリーは全14部をのこらず紹介する初めての試みであり、画家の思考の軌跡をたどる謎解きの物語となった。ウクライナでの戦争が続く今こそ、アートは平和の祈りを運ぶ箱舟である。

ドキュメンタリー映画 完成！

### 「丸木伊里・丸木俊 沖縄戦の図 全14部」

製作：河邑厚徳 監督

上映予定：第七芸術劇場

7月29日(土)～8月11日(金)

## コロナ不正 大阪は15業者で42.8億円 (産経6/5)

大阪府は5日、新型コロナウイルスの無料検査事業を巡り、受託事業者の不正請求が発覚したと明らかにした。全370業者のうち15業者を対象とした抽出調査分だけで約42億円分を確認したという。引き続き全業者を対象に調査し、8月中旬に結果をまとめる。他には東京183億円など全国で6/20時点で227億円の不正が明らかに。

## 「もんじゅ」で失敗した三菱重工に「高速炉」(朝日7/13)

岸田政権の原発推進で勢いづく経産省は、次世代原子炉「高速炉」の実証炉の開発の中心に三菱重工を選んだ。以前の「もんじゅ」の開発でも中心であり、ナトリウムの漏洩などのトラブル続きで1兆円以上の無駄金を使った三菱重工の開発選出には疑問視する声も根強い。

## 米ハリウッド俳優労働組合 全面ストへ (朝日7/15)

約16万人が加盟する全米映画俳優組合は、定額制の動画配信の拡大などにより俳優の収入に反映していない。またAI技術を使うことで、製作会社が保有する情報をもとに、俳優が演技している映像を新たに作成したり、勝手に変更できる可能性もある。組合はAIで俳優の仕事に代替しないことも要求している。脚本家の組合のストライキは5月から始まっており、同時ストが展開されている。

**日本戦没学生記念会(わだつみ会)機関誌  
「わだつみのこえ」No158 2023/7/21 発刊です  
ぜひご購入ください (1000円)**

## 投稿 「5類」の新型コロナ感染記

「ヒロシマG7サミット」ではマスクもなしで宴会も開いた岸田首相によって、5月8日に新型コロナは「感染症2類」からインフルエンザ並みの「5類」にされました。保健所は感染者に対する医療提供の責任がなくなり、患者発生の全数検査を「定点観測」という無意味なものに切り替えられ、患者数の増減は隠されました。

「5類」変更直前の「第8波」での死亡者数は多く、特に高齢者施設での医療対応がされず、救急車を呼んでも来てくれないということが問題となっていました。その高齢者施設への対策もなにもされないままの「5類」変更です。コロナによる死亡が老人性の肺炎や他の病気にカウントされているとも言われています。

### 「5類」新型コロナに感染してその酷さを痛感

7月10日にコロナに感染しました。「5類」になったので保健所に連絡するのではなく近所の医療機関で受診するために、内科医院を受診しようとしたのですが、「コロナの診察はしていない」と断られ、「近くの薬局で『抗原検査キット』を買って自分でチェックしてください」だけで、診療してくれる医者紹介もしてくれません。行政機関に問い合わせると、5類移行後も診てもらえる医院は増えていないことが分かりました。しょうがないので、近所の薬局さんで1500円の自己負担で抗原検査をして陽性とは判明しましたが、その後は「自己責任」。保健所や市や県の担当部局に連絡しても、「5日間は家で大人しく。もし呼吸困難などになれば救急車を呼んでください」と言う無責任さ。こちらから後期高齢者で既往症があるから「抗コロナウイルス薬」を処方してほしいといっても無視する無責任な対応でした。私の場合は持病で受診して

## 報告 7/28 原発いらナイト in 宝塚 124回目

7月28日に恒例のチラシ配布を行います。今回も東電の汚染水の放出反対を中心に配布予定。最終金曜日にぜひ、宝塚駅連絡橋での配布にご協力ください。

## 案内 「堺 平和のための戦争展 2023

「堺 平和のための戦争展」は、8月5～6日に開かれる。教育委員会の後援も受け、学校での案内チラシの配布、社会福祉協議会の市民活動団体にも公認された。活動条件も整備された。

日時:8月5日(土)―6日(日) 9時～  
場所:堺サンスクエアホール



## 案内 8/20 わだつみ会 8・15 集会(東京) 「アジア侵略の実態と日本の戦争責任」

日時:2023年8月20日(日)  
14:00~16:30 (13:30 OPEN)

講師:森 正孝 さん(静岡大学教員)  
会場:日本教育会館(一ツ橋ホール)

ZOOM 参加:8月15日までに事務局アドレスにお名前と住所を連絡ください。 [noborun2@amail.plala.or.jp](mailto:noborun2@amail.plala.or.jp)

◆参加申し込みされた方には、8月15日までにURLとパスワード、資料を送ります。

## 一政府の医療対策の酷さ一 NN生

いる市民病院の主治医に連絡して、ようやく抗ウイルス剤を処方してもらいました。しかしそういうルートのない方は保健所もノータッチですから、高齢者・基礎疾患のある人でも抗ウイルス薬の処方にたどり着くのは困難です。今や「新型コロナ」は5日間解熱剤だけでやり過ごすことが強要されるという恐るべき「放置」状態です。

### 政府の新型コロナ対策は弱者切り捨て

政府は巨額のコロナ対策費を予算化したと言いつつ、保健所や病院、救急体制を拡充したり、医療労働者を増員するのではなく、外注業者とワクチン業者に金をばらまくだけ、コロナ関連の検査センターやコールセンターを請け負った外注業者はデタラメな費用請求を繰り返し予算を食いつぶし、各種補助金も多くがバラマキでした。

政府はコロナの「5類」変更と同時に保健所でのコロナ医療対応を放棄し、コロナ対応をする医療機関への補助金等を削減し、拡大どころか縮小させています。

### 「抗コロナウイルス薬」を処方させよう

「5日間、家で大人しく」だけでは治りません。だいたい、インフルエンザでは「タミフル」等の抗ウイルス剤が処方されるのに、コロナ感染には「抗ウイルス剤」がちゃんと処方されないのがおかしいのです。「抗ウイルス剤」(ラゲブリオ)は国家予算化され必要な人には無料で供給されるはずですが、この薬は認可されている「SARS-CoV-2」の増殖を阻害する薬です。医師に処方要求しましょう。1日2回、4カプセルを5日間飲みます。私の経験では3日目から治ってきた感覚がありました。

